



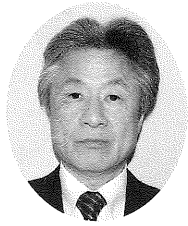
Title	新年のごあいさつ
Author(s)	久多里, 文也; 上家, 和子; 川人, 優 他
Citation	makoto. 2017, 177, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/85642
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



一般財団法人 大阪防疫協会

理事長 久多里 文也

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かとお力添えを頂き有難うございました。

本年も変わらずご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は、熊本や鳥取中部、他の県でも大きな地震と、地球温暖化による気候変動でしょうか、異例のコースと風速を増した台風や、台風に伴う記録的な大雨、雷雨、そして猛暑となりました。また、デング熱やジカ熱、チクングニヤ熱などのウイルスを媒介し平均気温が、11度以上の地域で定着可能なヒトスジシマカは国内で年々北上し岩手県、秋田県を北限とした定着が青森県まで生息域が拡大されています。また、世界的にも熱波やハリケーン、干ばつや洪水などの発生頻度を増大させているとする報告書を世界気象機関(WMO)が発表しています。昨年11月、地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」が発効されましたが、人間活動による二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガス排出量を生態

系が吸収できる範囲に収め実質的にゼロにして地球気温の上昇を抑える必要があると指摘しています。

ところで、今年は、憲法施行70年を迎えますが、当協会も敗戦直後の混乱期、昭和22年(1947年)5月15日に設立されまして今年で70年を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様方の暖かいご支援の賜と感謝いたしております。今後とも協会の公益事業である防疫に関する相談事業、防疫用国有ワクチンの備蓄事業、防疫思想・知識の普及啓発事業、防疫に関する調査・研究事業をさらに充実させまして安全・安心・健康な街づくりに向けまして努めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今年が、皆様方にとりまして素晴らしい年でありますことをお祈りいたしまして新年のごあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

上 家 和 子

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれては、健やかに輝かしい新年をお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

旧年中より、貴協会の皆様方には本府の健康医療行政に対して格別の御支援、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の本機関誌第176号「人口減少社会における水の守り方を考える」でも書きましたが、大阪府は、水道普及先進地であることから、水道管や施設の老朽化の到来も早く、高齢社会が進展する中で、どのようにして安全・安定的に水を供給していくかが、大きな課題となっています。このような状況を踏まえ、昨年は、大阪府広域的水道整備計画を改定し、施設の共同利用や市町村水道の統合等、水道事業の基盤強化策の方向性を示しました。また、生活排水対策においても、今後の人口減少に向かって、地理的条件や人口密度によっては、一律に下水管を張り巡らせ

る集合処理だけでなく、生活排水をその場で処理して環境へ戻す合併処理浄化槽の導入が効率的な場合もあるため、その普及促進に努めているところです。人口減少社会は、水道・生活排水を取り巻く環境にも大きな影響をもたらすものであり、「水を守る」ための理解と判断が求められています。

また、昨年は、中南米等でジカウイルス感染症が流行し、リオオリンピックが重なったことから、感染の輸入が危惧されました。幸い我が国での流行は見られませんでした。今後も引き続き注意が必要です。

貴協会におかれては、公衆衛生に関する豊富な経験・知識や高度な技術をいかに発揮され、公衆衛生の向上に向けて御活躍くださいますようご期待申し上げます。

結びに、貴協会の益々のご発展と皆様方の健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



❀ 新年のごあいさつ ❀



大阪市健康局
生活衛生担当部長

川 人 優

新年あけましておめでとうございます。
一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、
すがすがしい新春をお迎えのことと、心より
お慶び申し上げます。

旧年中は環境衛生の向上はもとより、市政
の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、
厚くお礼申し上げます。また、貴協会におかれ
ましては、日頃より防疫に関する相談事業
など社会貢献に取り組まれ、御努力されている
ことに対し、深く敬意を表する次第でござ
います。

昨年は、熊本地震による家屋の倒壊や例年
になく台風が立て続けに北海道に上陸し土砂
災害が発生する等、自然災害に見舞われまし
た。また、リオオリンピック・パラリンピック
の開催地であるブラジルでは、ヤブ蚊によっ
て感染するジカウイルス感染症の流行につい
ても大きく取り上げられ、今後もジカウイル
ス感染症の国内への侵入が危惧され、防疫対
策の重要性を再認識することとなりました。

貴協会の永年にわたり培ってこられた防疫
対策・衛生害虫獣の防除に関する豊富な知識
や経験は、これら災害や感染症等の危機管理
事象に対応しうる心強いスキルであり、今後
ますます重要となる危機管理の分野におい
て、専門的な見地から地域を支え、緊急時に
おける住民の安全・安心の確保に御尽力頂く
とともに、公衆衛生の向上に寄与頂きますよ
う期待申し上げます。

さて、本市では昨年10月から、国内外観光
客の宿泊ニーズに対応するため、国家戦略特
別区域外国人滞在経営事業に係る認定業務を
開始したこともあり、今後ますます来阪する
外国人観光客等の急増が見込まれます。これ
ら外国人観光客や帰国者等が起因となる感染
症の蔓延を防止する観点から、感染症媒介蚊
の発生状況の継続的な監視及び蚊の防除体制
の整備・強化を今後も継続してまいりますの
で、公衆衛生の向上のために、御協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会
の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御
健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、
新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



堺市健康福祉局
健康部長

池之内 寛 一

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれ
ましては、2017年の新春を健やかに迎えられ、
益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げま
す。また、平素より本市保健衛生行政の推進
に格段のご理解とご協力を承り、心から感謝
申し上げます。

昨今、日本列島は地震、台風、火山噴火、
河川氾濫など、数々の災害に見舞われていま
す。昨年だけでも、4月14日に発生した「平
成28年熊本地震」、10月21日に発生した「鳥
取中部地震」、台風では過去稀にみる上陸の
多さなど、これらの自然災害により甚大な被
害をうけ尊い人命が失われました。このよう
な状況の中でも、私たちに元気・勇気を与
えてくれた多くの明るい話題がありました。
ノーベル生理・医学賞の分野では、東京工業
大学大隅良典栄誉教授が受賞され、また、リ
オオリンピック・パラリンピックにおいては、
日本選手の輝かしい活躍により、オリンピッ
クで過去最多となる41個のメダルを、パラリ
ンピックでは24個のメダルを獲得したことな
ど、国民は大きな希望と感動を受け取ったこ
とと思います。

さて、昨年4月に本市は、政令指定都市と
なり10年を迎えました。この10年、政令指定
都市がもつメリットを最大限に活用し、市民
に寄り添った身近なサービスの拡充に努めて
きました。特に近年は、「子育て」「歴史文化」
「ものづくり」を中心とした「堺3つの挑戦」
に加え、「市民が安心、元気なまち」の実現
に注力してきました。

とりわけ感染症・防疫の分野においては、
市民の健康、安心と安全の確保に向けて、感
染症の発生、蔓延の防止などに努めています。

昨年、中南米を中心にジカウイルス感染症
が多数報告され、国内でも関西国際空港にお
ける麻しん（はしか）の報告される中、あら
ためて防疫対策の重要性を認識し、迅速で的
確な情報発信を含め感染症・防疫対策のより
一層の充実を図っているところです。

貴協会におかれましては、これまで培って
こられた防疫対策などに関する豊富な知識、
経験、高度な技術を発揮され、今後とも本市
の保健衛生行政の推進により一層のお力添え
を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防
疫協会の益々のご発展と皆様方のご活躍とご
健勝、そして、本年が皆様にとりまして幸多
い一年となりますことを心よりお祈りいたし
まして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



東大阪市健康部長

西田 繁一

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、地震、台風、豪雨などによる自然災害の発生も多い年でしたが、災害時に健康被害の拡大を防ぐために万全の備えをしていくことが必要になってまいります。

本市では、水害時の感染症等の拡大防止が課題の一つとなっており、浸水地の消毒対策事業として、消毒薬の備蓄と消毒噴霧器の確保に努めているところです。また、昨年11月の東大阪市総合防災訓練時にも実施しましたが、市民自らが浸水した家屋内の消毒対応が行えるように講習会を実施する等、啓発活動についても継続的に実施していきたいと考えております。

一方、感染症対策をめぐる話題としては、昨年8月のリオデジャネイロ五輪におけるジカ熱騒動や海外から帰国された方がデング熱の発症により死亡されるという痛ましい事例も発生しました。

交通網の発達や地球温暖化の進展に伴い、これまで限定した地域での蚊媒介感染症が我が国でも憂慮すべき疾患になりつつあると認識しており、本市におきましても、万が一の発生時に対応できるよう、継続的な蚊の生息調査やウィルスの保有状況調査を行い、蚊の防除体制の整備・強化を図っていききたいと考えております。

さて、本市は昭和42年施行以来本年2月1日に市制施行50周年という大きな節目を迎えます。東大阪市としましては、地域の公衆衛生の実践拠点として、今後も市民が健康で安心・安全に暮らせるよう、より一層の努力を重ね、健康危機管理や感染症対策などの保健衛生行政を進めてまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や公衆衛生に関する豊富な知識と経験、高度な技術を遺憾なく、発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ ❀



高槻市健康福祉部長

西田 誠

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催され、日本選手が多くメダルを獲得するという明るい話題があった一方、熊本地震や台風第10号、阿蘇山中岳の爆発的噴火などの災害が発生し、各地で甚大な被害がもたらされました。これらの災害に被災された多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

このような災害時に備え、平時から防疫活動や衛生管理体制の整備が求められるところですが、貴協会におかれましては、長年にわたり感染症の予防及び公衆衛生の向上のための社会貢献に取り組まれていることに対し、深く敬意を表する次第です。

さて、高槻市では、独自の判断で保健所施策の展開が可能である政令市型保健所のメリットを活かし、「みらい・創生」をキーワードに、創意工夫しながら様々な課題に取り組んでいます。今後も、災害発生時における救急医療及び避難所等の公衆衛生確保や、最近話題となったエボラ出血熱、MERS、蚊媒介感染症の新興・再興感染症への対応に向けて、より一層の健康危機管理体制の充実・強化を図るとともに、市民の健康を増進し、安全で安心して暮らせる環境を確保するため、一層の努力を重ねてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

❀ 新年のごあいさつ



豊中市健康福祉部長

直 川 俊 彦

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、熊本県熊本地方や鳥取県中部を震源とする地震により甚大なる被害が発生し、一方では、台風による豪雨災害が日本列島各所で猛威を振るい深刻な被害をもたらした一年となりました。

また、オリンピック・パラリンピックの開催地ブラジルからジカウイルス感染症などの国際的な広がり懸念され、身近なところでは関西空港での麻疹の集団感染事例における対応など、様々な感染症への関心も集まり、その対策の重要性が再認識されました。

そのようななか、本市では、「安全で安心して暮らしができるまち」を基本政策の一つに掲げて、健康危機管理体制の強化に努めるなど、市民の皆様が健康で自分らしくいきいきと、そして安全・安心な暮らしができるまちをめざして、日々取り組みを進めております。本市は昭和11年の市制施行から、昨年10月で80周年を迎えましたが、今後も引き続き、誰からも住んでみたい、住み続けたいと思っていただけるまちをめざし、市民の皆様一人ひとりの生活の充実向上にむけ、様々な施策に全力で取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかんなく発揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と、あわせまして、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。

❀ 新年のごあいさつ



枚方市健康部長

白 井 重 喜

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、今年は貴協会におかれましては、5月で創立70周年を迎えられるとのこと、誠にありがとうございます。

本市にとりましても、今年は市制施行70周年を迎える節目の年であり、市の魅力を再認識・再発見し、市内外の多くの人に興味・関心を持っていただき、本市を訪れる機会を増やしていただけるような取組み、情報発信を行っているところです。

しかし、昨年のリオオリンピック開催前から広まったジカウイルス感染症の感染が懸念され、選手の参加を見合わせるなどが話題となりましたように、様々な取組みを行う中で、安心して本市を訪れていただくためには、感染症への対策は不可欠です。

また、昨年は大阪の空の玄関口でもある関西国際空港内での麻疹の集団感染事例がありましたが、本事例のような集団感染の未然防止には継続した予防啓発への取組みや、正しい知識の普及が非常に重要となります。

中核市となり、市民にとって身近な、公衆衛生の要でもある保健所業務を担ったことに対する責任を果たし、感染症発生対策や危機管理体制のより一層の充実を図るため、今後も努力を重ねてまいります。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫に関する豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、本市保健衛生行政の推進により一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりましたが、貴協会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会

理事長 山西 弘一

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当財団のワクチン事業に対し格別のご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、リオオリンピックで日本人選手が輝かしい結果を残す一方、開催地ブラジルなど中南米を中心にジカ熱が流行しました。ジカ熱はその流行地域を日々拡大させており、特に、妊婦や新生児の健康を脅かしています。日本国内での感染例はありませんが、海外の流行地域で感染し発症した症例が報告されています。人々の交流が多い現代社会において、感染症は海や国境を簡単に越えてしまうため、一刻も早いワクチン開発が望まれます。

当財団では、多くの有用なワクチンの開発、製造、供給により、世界中の人々の感染症予防に貢献してまいりました。昨年9月に大阪や千葉を中心に流行した麻しんや国が2020年を排除目標としている風しんに対する、麻しん風しん混合ワクチン（MR）、「50歳以上の者に対する带状疱疹の予防」の効能・効果が追加された水痘ワクチン、インフルエンザHAワクチン、そして日本脳炎ワクチン等の安定供給に努めております。

また、昨年11月には、当財団の製造部門を切り離し田辺三菱製薬株式会社との間に、ワクチン製造事業を基盤とした合弁会社を設立することで基本合意いたしました。両者のノウハウを融合し生産基盤の強化を加速させることで、ワクチンのさらなる安定供給に貢献できるものと期待しております。当財団と合弁会社は、ワクチンのスペシャリティ集団「BIKENグループ」として一丸となり、人類の脅威である感染症に立ち向かうことで、日本および世界の公衆衛生へのさらなる貢献をめざしてまいります。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

